

■コメント

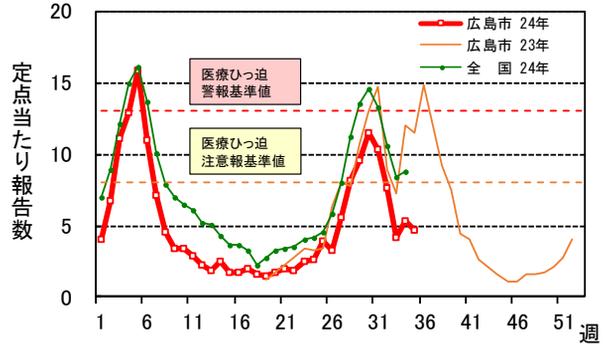
1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり4.66人の報告がありました。高齢者施設や医療機関等における集団発生の報告が続いています。医療機関受診時や高齢者施設を訪問する際は、感染予防としてマスクの着用が効果的です。また、体調がすぐれないときは、お見舞いや高齢者施設の訪問は控えましょう。

【参考】広島市における新型コロナウイルス感染症の新規集団発生事例(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/341008.html>



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.00人の報告があり、多い状況が続いています。マイコプラズマ肺炎は、長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 手足口病

定点当たり4.50人の報告があり、多い状況です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。特に、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

4 レジオネラ症

今年の累計は15件となりました。(次ページ参照)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減状況			
												前週と比較しておおむね	増減率		
インフル	インフルエンザ	9	0.26	0.42		小児科	ヘルパンギーナ	6	0.27	0.84		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	163	4.66		◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.04		増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	20	0.91	1.32	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↖	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	4	0.18	0.39			流行性角結膜炎	4	0.50	0.33		横ばい	→	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.14	0.81	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)		35
	感染性胃腸炎	67	3.05	2.59	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-			小児科定点数	22	
	水痘	-	-	0.08			マイコプラズマ肺炎	28	4.00	0.03	↗		眼科定点数	8	
	手足口病	99	4.50	1.60	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			基幹定点数	7	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.15			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	-			(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)		
	突発性発しん	4	0.18	0.35											

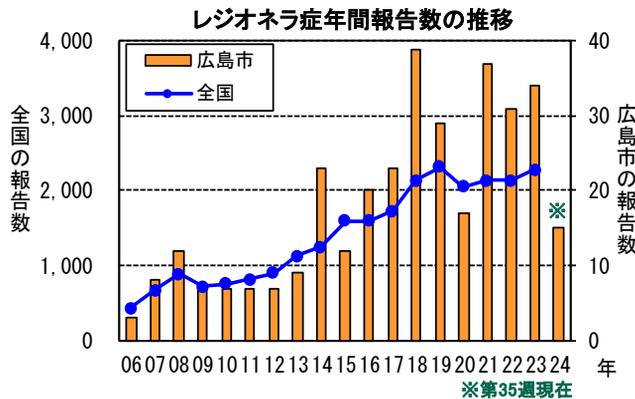
■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	75	60歳代、80歳代、90歳代
4	レジオネラ症	1	15	50歳代
5	カルバパネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	5	80歳代
5	梅毒	6	111	20歳代・2人、30歳代・3人、40歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	(C O V I D - 1 9) 新型コロナウイルス感染症																				
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
第31週	6	361	27	9	39	43	6	386	1	5	15	-	-	3	-	1	22	-	-	-	-	
第32週	3	245	27	5	36	46	2	254	-	6	13	-	1	3	-	-	20	-	-	-	-	
第33週	-	121	11	1	18	28	1	78	-	3	2	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	
第34週	7	188	12	5	14	61	1	77	-	8	5	1	-	2	-	-	26	-	-	-	-	
第35週	9	163	20	4	25	67	-	99	1	4	6	-	-	4	-	-	28	-	-	-	1	
定点当たり	広島市	0.17	10.31	1.23	0.41	1.77	1.95	0.27	17.55	0.05	0.23	0.68	-	0.38	-	0.14	3.14	-	-	-	-	
第31週	0.09	7.66	1.35	0.25	1.80	2.30	0.10	12.70	-	0.30	0.65	-	0.13	0.38	-	-	2.86	-	-	-	-	
第32週	-	4.17	0.65	0.06	1.06	1.65	0.06	4.59	-	0.18	0.12	-	-	-	-	-	5.71	-	-	-	-	
第33週	0.20	5.37	0.55	0.23	0.64	2.77	0.05	3.50	-	0.36	0.23	0.05	-	0.25	-	-	3.71	-	-	-	-	
第34週	0.26	4.66	0.91	0.18	1.14	3.05	-	4.50	0.05	0.18	0.27	-	-	0.50	-	-	4.00	-	-	-	0.14	
第35週	0.28	8.48	0.72	0.24	1.01	1.43	0.12	3.87	0.07	0.17	0.56	0.03	-	0.34	0.03	0.02	1.30	-	-	-	0.01	
全国	第31週	0.29	8.80	0.56	0.29	1.58	2.42	0.13	4.24	0.13	0.28	0.70	0.03	0.02	0.54	0.02	0.03	1.17	-	-	-	0.01
第34週																						

【参考】広島市におけるレジオネラ症の発生動向について



【参考】レジオネラ症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html



今年の累計報告数は第35週で15件となりました。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入などによって感染する細菌感染症です。

病型の一つであるレジオネラ肺炎は、2~10日の潜伏期間の後、咳、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などの症状が出現し、適切な治療がなされなかった場合には命にかかわることもあります。高齢者や新生児、免疫機能が低下している人は、肺炎を起こす危険性が高く、特に注意が必要です。

国内では、循環式浴槽、加湿器、冷却塔、入浴施設などによる感染事例の報告があります。これらの維持管理を適切に行い、レジオネラ属菌の繁殖を防ぐことが大切です。また、土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

【参考】梅毒の無料・匿名検査について



広島市の各区保健センターでは、梅毒検査を無料・匿名で行っています。住所や性別などを問わず、どなたでも受けることができます。原則としてHIV(エイズ)検査と同時受検となります。

検査は予約制で、Webまたは電話で予約を受け付けています。連絡先等は、ホームページをご参照ください。

梅毒の無料・匿名検査

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター一丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp